

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎鍼灸実技Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	実習室
担 当 教 員	副田 恵子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①身体の異常反応を正確に捉え、安全な刺鍼・施灸を行うことができる。 ②特殊鍼法の技術を学び、状態に応じて使うことができる。 ③手技により刺激量の調節を行うことができる。 全身への鍼灸施術を繰り返し行うことで技術を高め、様々な反応点への施術により、刺激量を調節しながらどのような効果が現れるかを体感し、特殊鍼法を学んだ後、2年生における臨床実技の基礎を磨く。						
《成績評価の方法と基準》						
平常評価20点(片手挿管トライアル5点・灸トライアル5点、灸頭鍼チェック5点、通電チェック5点) ＋ 実技試験80点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
1年次に行った直刺、斜刺、横刺を繰返し練習し、刺入深度・角度を自分でコントロールできるようになっておくこと。 1分間片手挿管12回、灸トライアル2分間で14以上できるようにしておく事。 積極的に補習に参加し、技術を磨いていくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
少しずつ基礎から応用が変わっていき、より臨床に近づくので興味を持って受講して下さい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎鍼灸実技Ⅲの学習内容について説明できるようになる。 灸頭鍼の説明、艾球を作れるようになる。		配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 【特殊鍼法Ⅰ】 灸頭鍼① 《片手挿管トライアル・灸トライアル》			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	練習台に刺入した鍼に艾球を取り付けることができるようになる。		鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】 灸頭鍼② 《灸トライアル》			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	練習台を用いて艾球の取り付けのバランス調整を確認し、適切な距離と大きさの灸頭鍼をできるようになる。		鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】 灸頭鍼③(灸頭鍼チェック)			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	お互いの腰背部・腹部で灸頭鍼点火までできるようになる。		鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】 灸頭鍼④ 《片手挿管トライアル》			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	お互いの身体に複数の灸頭鍼を点火できるようになる。		配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】 灸頭鍼⑤ 《灸トライアル》			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	通電療法について説明できるようになる。 上肢・下肢への通電療法が安全に行えるようになる。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅱ】 通電療法① 《灸トリアル》		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰背部への通電療法が安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅱ】 通電療法② 《片手挿管トリアル》		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	全身への通電療法が安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅱ】 通電療法③(通電療法チェック)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	小児鍼について説明ができるようになる。 全身への小児鍼治療ができるようになる。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅲ】 小児鍼 《灸トリアル》		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	皮内鍼・円皮鍼について説明ができるようになる。 皮内鍼・円皮鍼の使い方を理解する。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅳ】 皮内鍼・円皮鍼① 《灸トリアル・片手挿管トリアル》		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	全身へ皮内鍼・円皮鍼を安全に貼り付けることができるようになる。 耳鍼について理解し、実践及び説明ができるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅳ】 皮内鍼・円皮鍼②、耳鍼 《灸トリアル》		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	洞刺、坐骨神経刺鍼等、特殊部位への刺鍼を安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	解剖学的特殊部位への刺鍼練習 《灸トリアル・片手挿管トリアル》		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	身体異常反応の捉え方、つまみ押手、横刺を理解し、肩背部への施術を安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	肩背部への施術 《灸トリアル》		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	第1回から第13回までの授業内容を踏まえて安全に施術できるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	総合実技練習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期にて学習した内容を所定の時間内で安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	前期授業内容のまとめ		